

子どもの心のケア地域拠点事業

みやぎ心のケアセンター
基幹センター 企画研究部

部長 精神保健福祉士 渡部 裕一

課長 精神保健福祉士 樋口 徹郎

はじめに

宮城県では、震災後の心のケアについて「子どもから大人まで切れ目のない支援」を復興計画の基本方針として掲げており、みやぎ心のケアセンター（以下、当センター）では2016年4月から子どもの心のケア業務を受託し、現在に至っている。委託業務は、「相談事業」「専門職派遣事業」「研修事業」「普及・啓発事業」「調査・研究事業」の5つの事業となっている。

以下は、2019年度子どもの心のケア地域拠点事業（以下、拠点事業）を、委託仕様書に基づいてまとめたもので、当センター統計資料のうち、20歳未満の相談などを再掲したものである。

1. 委託事業の内容と実績

(1) 相談事業

当センターは、市町や小中高等学校などの教育機関および保育所などを通じ、子どもの心のケアに関する相談に応じている。専門職を派遣している市町の乳幼児健診や相談窓口などでの対応をきっかけに相談に至ることが多い。

2019年度の相談件数は、延べ件数373件、実人数134名であった。2018年度の延べ件数330件から増加しているものの、実人数は138人からわずかに減少している。年齢別・相談者別相談件数は表1に、年齢別・居住地別相談件数は表2に示した。

年齢別で見ると、2018年度83件だった6歳以下の相談が減少し、2018年度116件だった7歳～15歳の相談は大幅に増加している。石巻市と特に気仙沼市の件数増加が著しい。気仙沼市については、7歳～15歳と16歳～19歳の件数はいずれも100件を超えている。石巻市は、6歳以下、7歳～15歳、16歳～19歳のいずれも2018年度より増加している。基幹センター管内では、2018年度より半減となっている。

表1 年齢別・相談者別相談件数
(延べ人数 373人 実人数 134人)

	6歳以下	7～15歳	16～19歳	合計
本人	2	109	122	233
延べ人数 (相談者別) 家族	67	52	17	136
その他	2	2	0	4
合計	71	163	139	373
実人数	65	37	32	134

表2 年齢別・居住地別相談延べ件数

居住地		6歳以下	7～15歳	16～19歳	合計	
延べ人数 (居住地別)	仙台市	1	5	0	6	
	塩竈市	0	1	1	2	
	名取市	1	1	1	3	
	多賀城市	0	0	0	0	
	基幹 センター	岩沼市	0	0	1	1
	富谷市	0	0	0	0	
	亶理町	0	0	4	4	
	山元町	0	0	1	1	
	松島町	0	0	0	0	
	上記以外	0	0	0	0	
	石巻地域 センター	石巻市	28	32	9	69
		東松島市	9	9	6	24
		女川町	1	0	2	3
気仙沼地域 センター	気仙沼市	4	114	103	221	
	登米市	0	0	0	0	
	南三陸町	1	1	7	9	
匿名	26	0	0	26		
合計	71	163	135	369		

※延べ件数373件のうち4件は居住地「一関市」のため、表2において集計対象外となっている

(2) 専門職派遣事業

児童精神科医や臨床心理士、保健師などの専門家を市町保健センター、保育所や小中学校などに派遣し、職員に対するコンサルテーションや研修などを行った。2019年度は延べ229機関に派遣したが2018年度の309機関に比べ件数は減少している。派遣先別・職種別派遣件数は表3に、派遣先別・市町村別派遣件数は表4に示した。

派遣先機関では、市や町が169件で最も多く、うち、110件を保健師が対応したが、2018年度の127件に比べ減少している。派遣する職種全体でも保健師が最も多く、次いで臨床心理士、精神科医であるが、いずれも件数は減少している。保育所や幼稚園への派遣は2018年度と変わらないものの、小学校と中学校への派遣が、2018年度はそれぞれ31件と12件であったが、13件、3件へと減少している。

派遣先の市町では石巻市(90件)が最も多く、次いで亶理町(41件)、名取市(34件)となっているが、2018年度よりも10～30件ほど減少している。

表3 派遣先別・職種別派遣件数

職種	派遣先							合計
	県関係	市町村	保育所 幼稚園	小学校	中学校	その他		
精神科医	3	7	1	11	2	3	27	
臨床心理士	0	30	6	0	0	7	43	
精神保健福祉士	2	20	0	1	1	2	26	
保健師	0	110	0	1	0	12	123	
その他	0	2	8	0	0	0	10	
合計	5	169	15	13	3	24	229	

表4 派遣先別・市町村別派遣件数

市町	派遣先	県関係	市町村	保育所 幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
基幹 センター	仙台市	0	1	0	4	2	7	14
	塩竈市	0	0	0	0	0	0	0
	名取市	0	26	8	0	0	0	34
	多賀城市	0	2	0	0	0	0	2
	岩沼市	0	12	0	0	0	0	12
	亘理町	0	41	0	0	0	0	41
	山元町	0	9	0	0	0	0	9
	松島町	0	2	0	0	0	0	2
石巻地域 センター	石巻市	0	67	6	1	0	16	90
	東松島市	2	4	1	0	0	0	7
	女川町	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼地域 センター	気仙沼市	2	1	0	8	1	1	13
	登米市	0	4	0	0	0	0	4
	南三陸町	1	0	0	0	0	0	1
合計		5	169	15	13	3	24	229

(3) 研修事業

2019年度は、47件の研修会について主催および講師派遣を行った。研修会講師職種別・市町村別実施状況は表5に、研修事業の実施一覧は表6に示した。

当センターが主催する研修会としては、石巻市で開催した『子どもの様々な個性を大切に～ひといちばい敏感な子ども〔HSC〕への理解と対応～』（268名参加）、『愛着障害とは～愛着障害の子どもとその親を支える支援のありかた～』（92名参加）、気仙沼市で開催した「気仙沼市立面瀬中学校保健講話『大事な気持ち。大事な自分』」（62名参加）などがあった。

災害後における心理的支援の基本的方法を示した『子どものための心理的応急処置（PFA）研修（以下、子どもPFA研修）』を県内4カ所（仙台、気仙沼、東松島、大崎）で8回開催した。

なお、『令和元年東日本台風（台風第19号）』で大きな被害を受けた丸森町で、10月に保育関係者向けの研修を、2月に保護者向けの講話を行った。

表5 研修事業の実施件数

開催地	講師職種	精神科医	臨床心理士	精神保健 福祉士	保健師	その他	合計
基幹センター	仙台市	15	3	0	0	0	18
	塩竈市	0	0	0	0	0	0
	名取市	1	0	0	0	7	8
	多賀城市	1	0	0	0	0	1
	岩沼市	1	0	0	0	0	1
	栗原市	1	0	0	0	0	1
	大崎市	2	0	0	0	0	2
	丸森町	2	0	0	0	0	2
	山元町	1	0	0	0	0	1
	美里町	1	0	0	0	0	1
石巻地域 センター	石巻市	3	0	0	0	0	3
	東松島市	4	0	0	1	0	5
	女川町	0	0	0	0	0	0
気仙沼地域 センター	気仙沼市	1	1	2	0	0	4
	登米市	0	0	0	0	0	0
	南三陸町	0	0	0	0	0	0
合計		33	4	2	1	7	47

*その他は、臨床発達心理士、大学教員

表6 研修事業の実施一覧

No	実施日	開催市町	内 容	主な参加対象者	参加人数	講師職種
1	2019年4月2日	仙台市	社会的養護児童に対する理解と対応	民間団体	1	臨床心理士
2	2019年4月9日	仙台市	児童相談所の役割	民間団体	1	臨床心理士
3	2019年4月23日	仙台市	社会的養護児童の特徴、児童相談所の役割	民間団体	1	臨床心理士
4	2019年4月23日	名取市	ストレスとその対応	名取が丘保育所	27	大学教員
5	2019年5月14日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕ブースター研修	民間団体等	3	精神科医
6	2019年6月1日	名取市	楽しい子育てのコツ	増田保育所保護者	15	臨床発達心理士
7	2019年6月5日	名取市	ストレスとその対応について	増田保育所	18	大学教員
8	2019年6月8日	名取市	楽しい子育てのコツ	名取が丘保育所保護者	30	臨床発達心理士
9	2019年6月14日	仙台市	子どもの支援に関わる支援者のためのアドバンス研修	教育関係者等	15	精神科医
10	2019年6月27日	名取市	保護者への心理的支援と教育相談の実際	教育関係者	150	精神科医
11	2019年7月8日	仙台市	子どもの育ちを支えるために教育現場でできること	教育関係者	200	精神科医
12	2019年7月29日	大崎市	発達障害の子どもを理解するために	大崎市教職員	100	精神科医
13	2019年7月30日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修	教育関係者等	27	精神科医
14	2019年8月2日	美里町	生活環境と子どもの育ち	教育関係者	100	精神科医
15	2019年8月9日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔Psychological First Aid〕	教育関係者	20	精神科医
16	2019年8月16日	気仙沼市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修	教育関係者等	17	精神科医
17	2019年8月19日	仙台市	発達障害者支援セミナーinみやぎ 第1部シンポジウム『切れ目のない支援～子どもから社会人になる、生きていく～』のコーディネーター	一般県民等	100	精神科医
18	2019年8月22日	栗原市	不安をかかえる子どもへの対応	教育関係者	50	精神科医
19	2019年9月6日	仙台市	子どものPTSDアセスメント研修	医療関係者等	65	精神科医
20	2019年9月12日	東松島市	虐待支援における連携	東松島市要保護児童対策地域協議会	28	精神科医
21	2019年9月18日	山元町	地域のつながりで支える子どもの育ち	行政関係者等	10	精神科医
22	2019年9月28日	名取市	心理教育研修	愛の杜めぐみ保育園	27	大学教員
23	2019年10月2日	気仙沼市	高校生を対象とした心の健康づくり出前講座	東陵高等学校全校生徒	370	精神保健福祉士
24	2019年10月4日	石巻市	子どもの様々な個性を大切に～ひといちばい敏感な子ども〔HSC〕への理解と対応～	児童福祉関係者等	268	精神科医
25	2019年10月8日	仙台市	心のケア支援チーム等派遣を通じた学校支援について	教育関係者	200	精神科医
26	2019年10月23日	丸森町	子どものための心理的応急処置	ひまわりこども園	45	精神科医
27	2019年10月25日	大崎市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修	民間団体等	11	精神科医
28	2019年10月29日	仙台市	子どものための心理的応急処置～出前講座～	あしなが育英会	13	精神科医
29	2019年10月29日	東松島市	虐待対応における支援とは～なぜ傾聴が必要なのかを考える～	東松島市要保護児童対策地域協議会	19	保健師
30	2019年11月13日	名取市	子どもの怒りへの対応	増田保育所	17	大学教員

31	2019年11月14日	気仙沼市	大事な気持ち。大事な自分	面瀬中学校2年生	62	精神保健福祉士
32	2019年11月14日	石巻市	被災地域における子どものメンタルヘルス支援活動	教育関係者等	92	精神科医
33	2019年11月14日	東松島市	こころの課題を抱える子どもを理解するために	放課後児童クラブ支援員等	40	精神科医
34	2019年11月15日	東松島市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修	行政関係者等	16	精神科医
35	2019年11月26日	石巻市	大災害を経験した子どもたちの育ち	教育関係者	40	精神科医
36	2019年12月15日	気仙沼市	吹上パイプを使用した呼吸法等	石甲子ども会	27	臨床心理士
37	2019年12月16日	仙台市	震災後の子どものこころの問題	宮城県議会議員	20	精神科医
38	2019年12月20日	多賀城市	フィンランドに学ぶ【ネウボラ】の実際と支援のつなぎについて	行政関係者等	24	精神科医
39	2019年12月21日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修	教育関係者等	28	精神科医
40	2019年12月23日	仙台市	いまの子どもたちに必要なこと～大災害から8年目に何ができるか～	仙台市スクールカウンセラー	81	精神科医
41	2020年1月26日	岩沼市	みちのく子どもコホートケアキャラバン2020	岩沼市対象児保護者	6	精神科医
42	2020年1月26日	東松島市	みちのく子どもコホートケアキャラバン2020	東松島市対象児保護者	7	精神科医
43	2020年2月1日	丸森町	災害時の子どもの心のケアおよびセルフケア	大内保育所保護者	16	精神科医
44	2020年2月2日	仙台市	みんなにやさしい子育て環境をつくるために～医療の視点からみえること～	一般県民等	150	精神科医
45	2020年2月11日	仙台市	子どもの育ちを支える地域づくりシンポジウム～みちのくこどもコホートからみえること～	子どもの支援に関わる方等	62	精神科医
46	2020年2月14日	仙台市	子どもに関わる支援者のためのアドバンス研修	教育関係者等	23	精神科医
47	2020年2月26日	名取市	組織づくりについて	名取が丘保育所	30	大学教員

(4) 普及・啓発事業

2019年度は、子ども向けセルフケアのポスターを作成し、県内の小中学校416校へ送付した。2018年度に作成したクリアファイルを増刷し、表7のとおり研修参加者などに配布した。

表7 普及・啓発事業の実施一覧

No.	実施日	開催市町	内 容	配布人数
1	2019年5月14日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕ブースター研修 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	3
2	2019年5月21日	気仙沼市	気仙沼市主催「こどものことばの相談」〔グループ〕へ職員派遣	6
3	2019年6月14日	仙台市	子どもに関わる支援者のためのアドバンス研修 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	15
4	2019年6月27日	名取市	宮城県特別支援教育コーディネーター新担当者研修 参加者に普及啓発のクリアファイルを配布	150
5	2019年7月9日	気仙沼市	気仙沼市主催「こどものことばの相談」〔グループ〕へ職員派遣	6
6	2019年7月30日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修（仙台） 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	27
7	2019年8月16日	気仙沼市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修（気仙沼） 受講者に普及啓発（セルフケア）のクリアファイル配布	17
8	2019年9月10日	気仙沼市	気仙沼市主催「こどものことばの相談」〔グループ〕へ職員派遣	10
9	2019年10月25日	大崎市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修（大崎） 受講者に普及啓発（セルフケア）のクリアファイル配布	11

10	2019年10月29日	仙台市	子どものための心理的応急処置～出前講座～（あしなが育英会） 受講者に普及啓発（セルフケア）のクリアファイル配布	13
11	2019年11月13日	気仙沼市	気仙沼市主催「こどものことばの相談」〔グループ〕へ職員派遣	10
12	2019年11月14日	気仙沼市	気仙沼市立面瀬中学校保健講話 受講者に普及啓発（セルフケア）の クリアファイル配布	57
13	2019年11月15日	東松島市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修（東松島） 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	16
14	2019年11月28日	気仙沼市	気仙沼市立面瀬中学校に普及啓発（セルフケア）のクリアファイル配 布	130
15	2019年12月15日	気仙沼市	石甲子ども会クリスマス会 参加者に普及啓発（セルフケア）のクリアファイル等を配布	30
16	2019年12月21日	仙台市	子どものための心理的応急処置〔PFA for Children〕1日研修（仙台） 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	28
17	2020年1月15日	気仙沼市	気仙沼市主催「こどものことばの相談」〔グループ〕へ職員派遣	8
18	2020年1月24日	仙台市	宮城県内の小中学校等へ普及啓発（セルフケア）のポスターを送付	416
19	2020年2月1日	丸森町	丸森町大内保育所保護者向け講話 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	35
20	2020年2月14日	仙台市	子どもに関わる支援者のためのアドバンスト研修 受講者に普及啓発のクリアファイルを配布	23

(5) 調査・研究事業

例年行っている『東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への継続的支援研究』と『被災地の親子を対象としたキャンプ事業における調査研究』については、本号の『第Ⅱ章調査研究報告及び他誌寄稿原稿』で報告する。

2019年度の調査研究発表は表8のとおりである。

表8 調査研究事業の実施一覧

No.	実施日	内 容	テーマ	担当職種
1	2019年6月16日	第18回日本トラウマティック・ストレス学会 シンポジウム	母親のメンタルヘルスと地域支援の実際	精神科医
2	2019年6月20日	第115回日本精神神経学会学術総会 シンポジウム	東日本大震災被災地域における学校教育と 精神保健医療福祉との連携による普及啓発 活動	精神保健福 祉士
3	2019年6月30日	第18回欧州児童青年精神医学会議 (ESCAP) シンポジウム	Mental health of mothers who have children born after the 2011 Disaster	精神科医
4	2019年8月4日	日本小児看護学会第29回学術集会	緊急時の子どものこころの反応とその支援	精神科医
5	2019年8月7日	被災地の親子を対象としたキャン プ事業	第3回ほっぷ☆すてっぷ☆デイキャンプ サプリーダー研修	精神科医
6	2019年8月29日	“Japan-jyvaskylä Foster Parents Research Conference” Reports from Japan（日本-ユバスキュラ 里親支援カンファレンス）	Interviewing Adoptive and Foster Parents who have children with Developmental disabilities:Preliminary Interview for Developing Special Parent Training Programs	精神科医
7	2019年9月13日	第37回日本小児心身医学会学術集 会 災害関連セッション	大災害に備えて地域で取り組むべき課題	精神科医
8	2019年10月5日	被災地の親子を対象としたキャン プ事業	第10回ほっぷ☆すてっぷ☆デイキャンプ	精神科医
9	2019年11月3日	第122回日本小児精神神経学会 ポスター発表	発達障害がある子どもを育てる養親支援の 検討～養親インタビューの質的分析からみ えること～	精神科医

2. 考察

2019年度は2018年度と比較して、相談事業と研修事業についての件数は、いずれも増加した。特に相談事業の延べ件数は、事業受託4年目で最大となった。実人数は増えていないことから、困難ケースなど複数回支援を必要とする方が増えたと考えられる。また、本人の相談が増加している一方で、家族の相談の件数が初めて減少に転じた。中高校生以上は、家族が本人に代わって相談するより、本人自身が相談する傾向が強まったと考える。相談件数が特に増加している気仙沼地域センターは、2017年度から取り組んでいる学校などでの啓発活動をきっかけに相談先としての認知度が定着したと思われる。石巻地域センターは、母親など養育者からの相談件数が増加した。石巻市の乳幼児健診への協力（年64回）がきっかけとなったと考える。基幹センターについては、対応困難ケースへの助言など支援者支援に力を入れる中で、地元自治体職員などで対応するケースが増えたと思われる。

専門職派遣事業については、2018年度で309件であったのが、2019年度は229件となり、80件の減少となった。2017年度の266件、2016年度の234件を下回った。各自治体が、支援体制の強化を進めたことや、2018年度まで経年で実施していたコホート調査（震災後に誕生した子どもとその家庭への継続的支援研究）に伴う小学校訪問の際のコンサルテーションが行われなかったこと、新型コロナウイルス感染症対策に伴う市町事業の延期や中止などが影響したと思われる。

3. まとめ

子どもの心のケア地域拠点事業がスタートして2019年度で4年目となり、東日本大震災からも9年が経過している中、気仙沼地域センター、石巻地域センター、基幹センターそれぞれが「子どもから大人まで切れ目のない支援」を心掛けてきた。相談事業の件数はいまだ増加傾向にある一方で、専門職派遣事業は減少となっている。研修ニーズは依然として高い状況にあり、これまでに依頼がなかった美里町、丸森町で初めて研修会を開催した。専門職派遣事業の件数の減少は、各自治体や支援者が人材の確保などに努められた結果と考えられるが、引き続き自治体職員などの支援者への支援は必要不可欠である。

2020年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響が拡大し、研修事業や専門職派遣事業の件数減少が見込まれている。普及啓発や調査研究に関しても影響を受けられると思われる。そして相談事業については、関連した相談が数多く寄せられる可能性を考慮する必要がある。感染予防を最優先としつつも、求められる支援には極力応えていきたいと考える。

2020年度末で拠点事業は終了となり、2021年度からは、「地域住民支援」「支援者支援」「普及啓発」の3事業の中で「子どもから大人まで切れ目のない支援」を継続していく見込みである。2021年度以降も必要とされる「子どもPFA研修」や「コホート調査」などの事業継続を図りつつ、必要な連携に努めていきたい。